

政務活動費 活動実績報告書

令和4年1月31日
高橋信広

件名	セミナー受講 テーマ；『地方に人を呼び込め』 これからの観光戦略
使途	1 調査研究費 2 研修費 5 要請・陳情活動費
金額	15,000円
期日	令和4年1月25日（火） 10:00～12:30
目的	人口減少を受け止めながら当市の経済を維持するための重要な施策の一つは観光戦略であるが、国内外の展望や成功事例を知ることによって今後の施策につなげられるよう参加した。
概要	主催；地方議員研究会 テーマ；『地方に人を呼び込め』 これからの観光戦略 講師；大正大学地域構想研究所客員教授 村山祥栄氏 概要；1.フランスがなぜ強いのか（リピーター率90%、海外客数→世界NO1） ※なぜ人はパリへ向かうのか⇒「あのパリ」と希求する思い入れ＝憧れ 2.ブランディング戦略とは何か ・誘致・セールス、「来てください」からマーケティング、「行きたい」へ ・ニッチ領域で尖る、知名度≠ブランド、日本一を目指す、映え＝見せ方 ◎ブランディング戦略によるブランド化の成功が観光戦略の始まり 3.京都市の観光戦略～混雑の緩和、マナー問題等課題の解決策を実行 4.今後の観光戦略⇒地元が儲かる観光戦略を作れるか ・これからの観光は①高齢者向けのビジネス ②インバウンドは必ず成長 ③絶対的成長産業 ④旅行ロスがすごい ◎観光戦略の最終目的は、観光事業を地域内経済循環につなげること
所感	当市の人口減少の実情及び見通しに鑑みると観光戦略が如何に重要な施策であるかを改めて認識させられた。特に、当市は地域内経済循環率が低く将来に向けて大きな課題であるが、観光と一線を画した施策を描いていたことを同じ土俵で考えることで対策につながると理解できた。 ブランディング戦略において、八女市のブランド化を確立させることが重要なポイントであるが、知名度はあるがブランド力がない、ニッチ領域、日本一を目指すものなど諸条件に当てはまる「八女茶のブランド化」の確立こそが取り組むべき重要課題であり、市民からの理解も得られると考える。 ターゲットについては、国内は当面は福岡都市圏に絞りポストコロナを見据えては東京都市圏、海外は中国と明確にした戦略が当市の将来につながると考える。